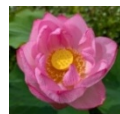




大黒堂に咲く蓮の花

7月(文月) 皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか

境内の蓮の花が美しく咲きほこり、夏の訪れを感じる季節となりました。私たちの心を和ませてくれる蓮の花は、朝のやわらかな光の中で凜として咲く姿が印象的です。季節の移ろいを感じながら、自然に親しむひとときは、心身の健康を保つうえで大切な時間ではないでしょうか。これから暑さが本格化していきますが、どうぞ無理なく十分な睡眠、休養、バランスの取れた食事。そして、こまめな水分補給を心がけながら、この季節をお過ごしください。



第22回知って安心セミナー テーマ「学んで納得！終活のお話し」報告



6/6(土)、大黒堂会館2階大広間にて開催され、会場には49名、後日ビデオ視聴には37名の方々が受講されました。

講師は「安心ノートを書く会」でもおなじみの行政書士・江崎純子氏、地域連携にて共におひとり様の社会課題に取り組んでいる(株)式典船山博善社・事業企画部菅野一徹氏より、お話しを伺いました。

江崎講師からは、まず準備しておくこととして、不安を取り除いて安心するために、エンディングノート(孝道山「安心ノート」)の活用、**緊急連絡先(親族1人、親しい仲間1人)を決めること**、さらにそれを家族・仲間に伝えることの重要性を力説されました。具体的事例をもとに、入院、施設入所、金銭管理、亡くなった後にやること、それを誰がやるのか(遺言がない場合)など、これから起こりうることを受講者各自で想像し、自分事として考えていただきました。『終活』とは、「自分の人生は自分で決めておかないと、誰かが困る」。

不安(分からない、知らない)を安心(決めている、決まっている)に、そしてそれを実現する人を決めて託し、話し合っておくことが大事であると述べられました。

※次号では、菅野講師の「現在の葬儀の傾向と事前準備の重要性」について報告します。

作品展



絵手紙 岸和子さん



押し花ポーチ 今沢和子さん



パステル画 伊藤和子さん